

# クラウドVDIサービス Amazon WorkDocs Drive 利用手順書

ver 2.0



はじめに

WorkDocs Drive インストール手順

1. WorkDocs Drive インストール
2. WorkDocs Drive サインイン

□ーカルPC – WorkSpaces 間のデータ共有手順

<参考> データ共有後の情報漏洩リスク対策

<参考> サインイン時にJavaスクリプトエラーが表示された場合

## はじめに

本書は、東日本電信電話株式会社（以下、NTT東日本）が提供するクラウドVDIサービスにて、Amazon WorkDocs※1をAmazon WorkSpaces※2もしくはWindows PCで利用するためのアプリケーション『Amazon WorkDocs Drive』のインストール方法および利用方法を記載した手順書です。

Windows以外のPC（macOS 等）およびスマートデバイスでの利用方法につきましては、恐れ入りますが『Amazon WorkDocs ユーザーガイド』をご確認ください。

また、本書は2020年1月31日現在の利用手順書であり、AWS社により仕様／記載内容の改変、修正、削除が発生する可能性があります。

最新の内容につきましても、『Amazon WorkDocs ユーザーガイド』をご確認ください。

Amazon WorkDocs ユーザーガイド：

[https://docs.aws.amazon.com/ja\\_jp/workdocs/latest/userguide/what\\_is.html](https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/workdocs/latest/userguide/what_is.html)

※1：AWS社が提供するクラウドストレージサービス

※2：AWS社が提供するクラウドVDIサービス

以降のページに『Amazon WorkDocs Drive』のインストール／サインイン手順を記載いたします。

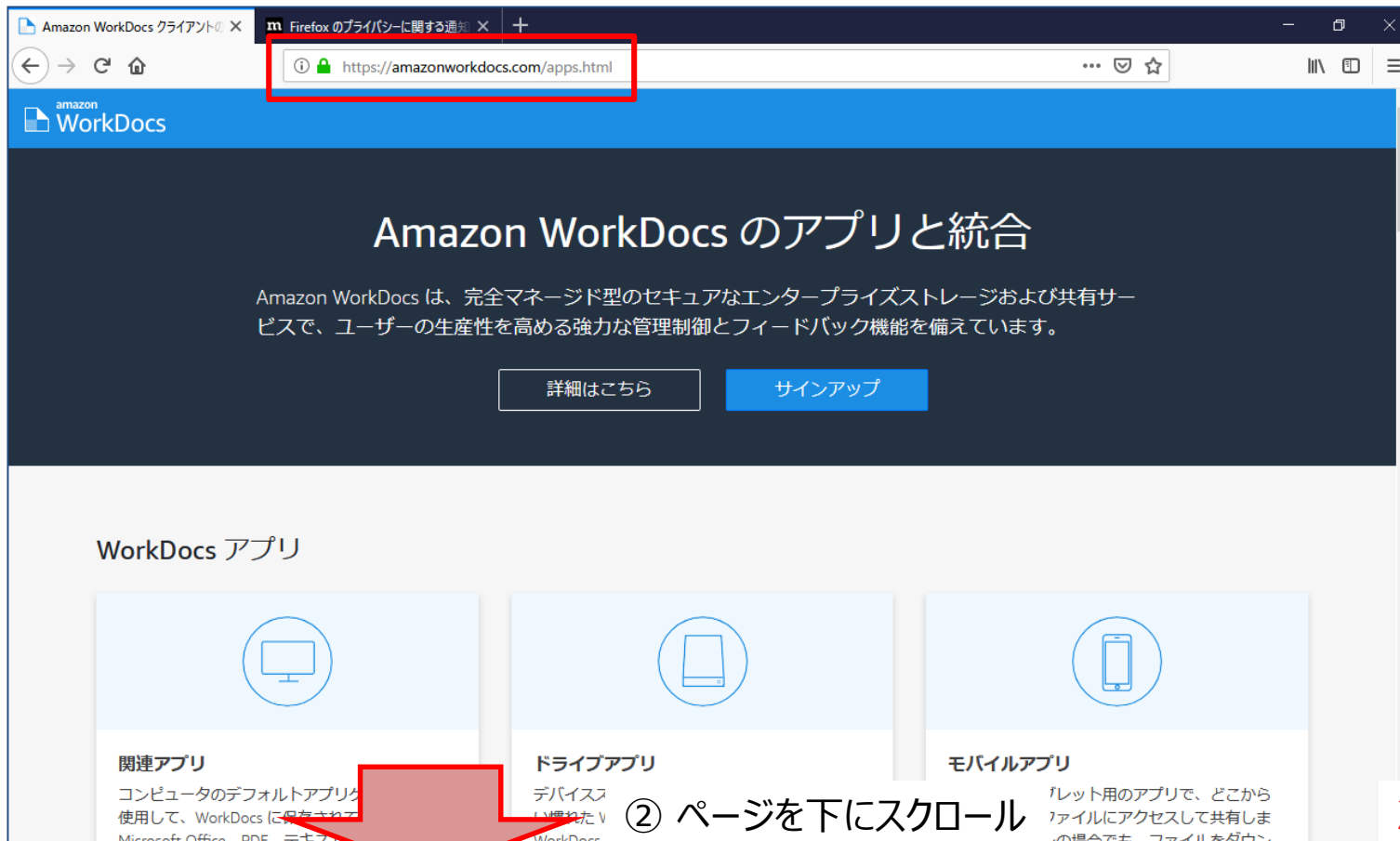
画像ではAmazon WorkSpacesを使用しておりますが、ローカルのWindows PCでも同様の手順でご利用いただけます。

# 1. WorkDocs Drive インストール

## インストーラーのダウンロード

- WebサイトよりWorkDocs Driveのインストーラーをダウンロードします

① Webブラウザでダウンロードページ (<https://amazonworkdocs.com/apps.html>) にアクセス  
※ 画像ではFirefoxを使用していますが他のWebブラウザでもかまいません



# 1. WorkDocs Drive インストール

- ③ ドライブアプリのダウンロードの「PC」をクリックして  
インストーラー（AWSWorkDocsDriveClient.msi）を任意の場所（デスクトップなど）に保存します

The screenshot shows a web browser window displaying the Amazon WorkDocs application page. The browser's address bar shows the URL <https://amazonworkdocs.com/apps.html>. The page title is "WorkDocs アプリ".

The page content is organized into three columns, each representing a different application type:

- 関連アプリ (Related Apps):** Describes using default computer applications like Microsoft Office and PDF editors. It includes a "ダウンロード" (Download) section with buttons for "PC" and "MAC".
- ドライブアプリ (Drive App):** Describes using the Drive app on a Windows Explorer. It includes a "ダウンロード" (Download) section with buttons for "PC" and "MAC". The "PC" button is highlighted with a red rectangular box.
- モバイルアプリ (Mobile App):** Describes using the app on mobile devices like smartphones and tablets. It includes a "ダウンロード" (Download) section with buttons for "Fire OS", "Android", and "iOS".

At the bottom of each column, there is a link labeled "詳細はこちら" (Details here).

# 1. WorkDocs Drive インストール

## WorkDocs Drive インストール

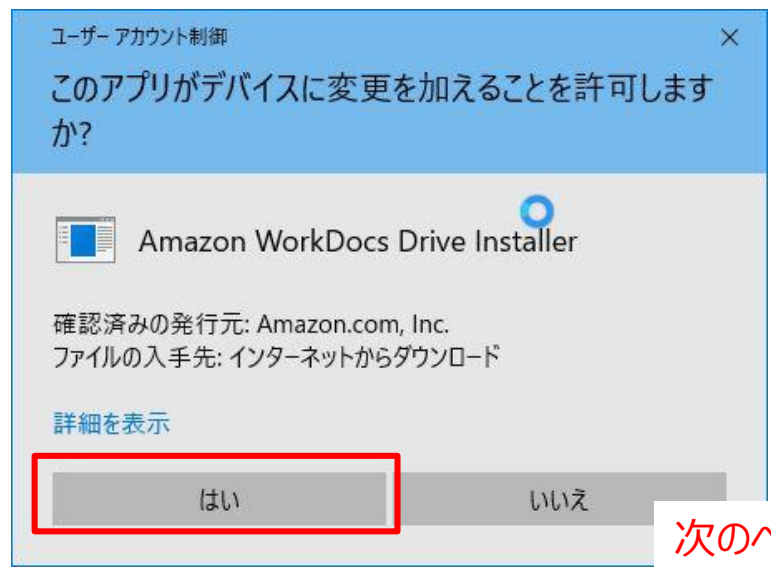
■ ダウンロードしたインストーラーを実行してWorkDocs Driveをインストールします

① ダウンロードしたインストーラー（AWSWorkDocsDriveClient.msi）をダブルクリックで実行します



※ 実行後に「セキュリティの警告」画面が表示されたら「実行」をクリックします

※ 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら「はい」をクリックします

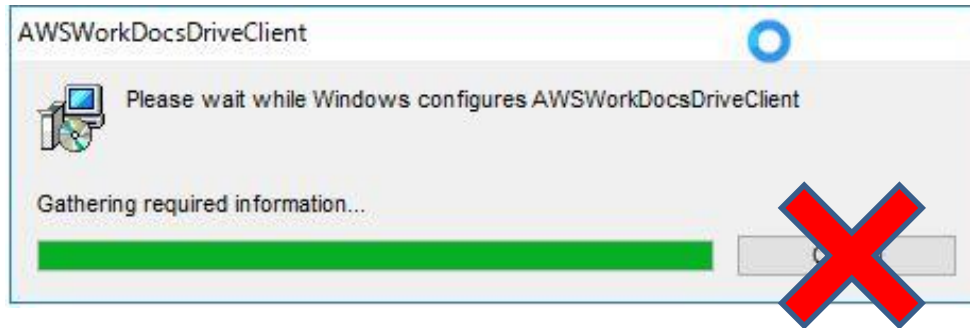


# 1. WorkDocs Drive インストール

② インストールが完了するまで待機します

※ インストール中は以下のウィンドウが表示されますが、「Cancel」はクリックしないでください

※ 通常10分以内にインストールが完了します

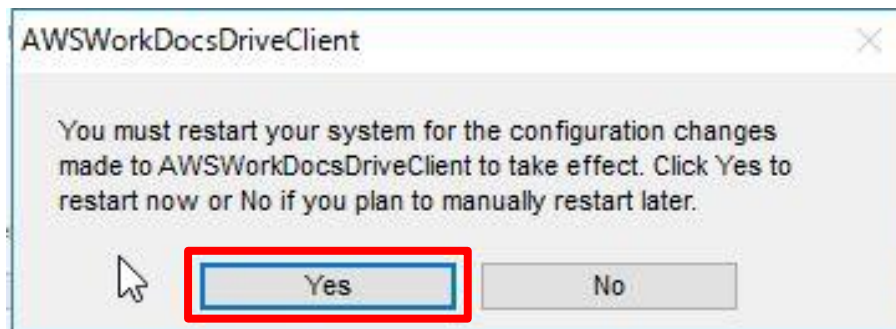


③ 以下のウィンドウが表示されたらインストール完了です

「Yes」をクリックすると**自動的に再起動します**（WorkSpacesの場合は一旦切断されます）

※ 「Yes」をクリックする前に作業中のアプリケーションがありましたら全て閉じてください

※ 誤って「No」をクリックした場合は必ず手動で再起動してください



## 2. WorkDocs Drive サインイン

### WorkDocs Drive サインイン

#### ■ WorkDocs Driveにサインインします

##### ① 再起動後、(WorkSpacesの場合は再接続後)

「Amazon WorkDocs ドライブ」のウィンドウが自動的に立ち上がることを確認します

② 「WorkSpacesの登録コードを入力します」をクリック

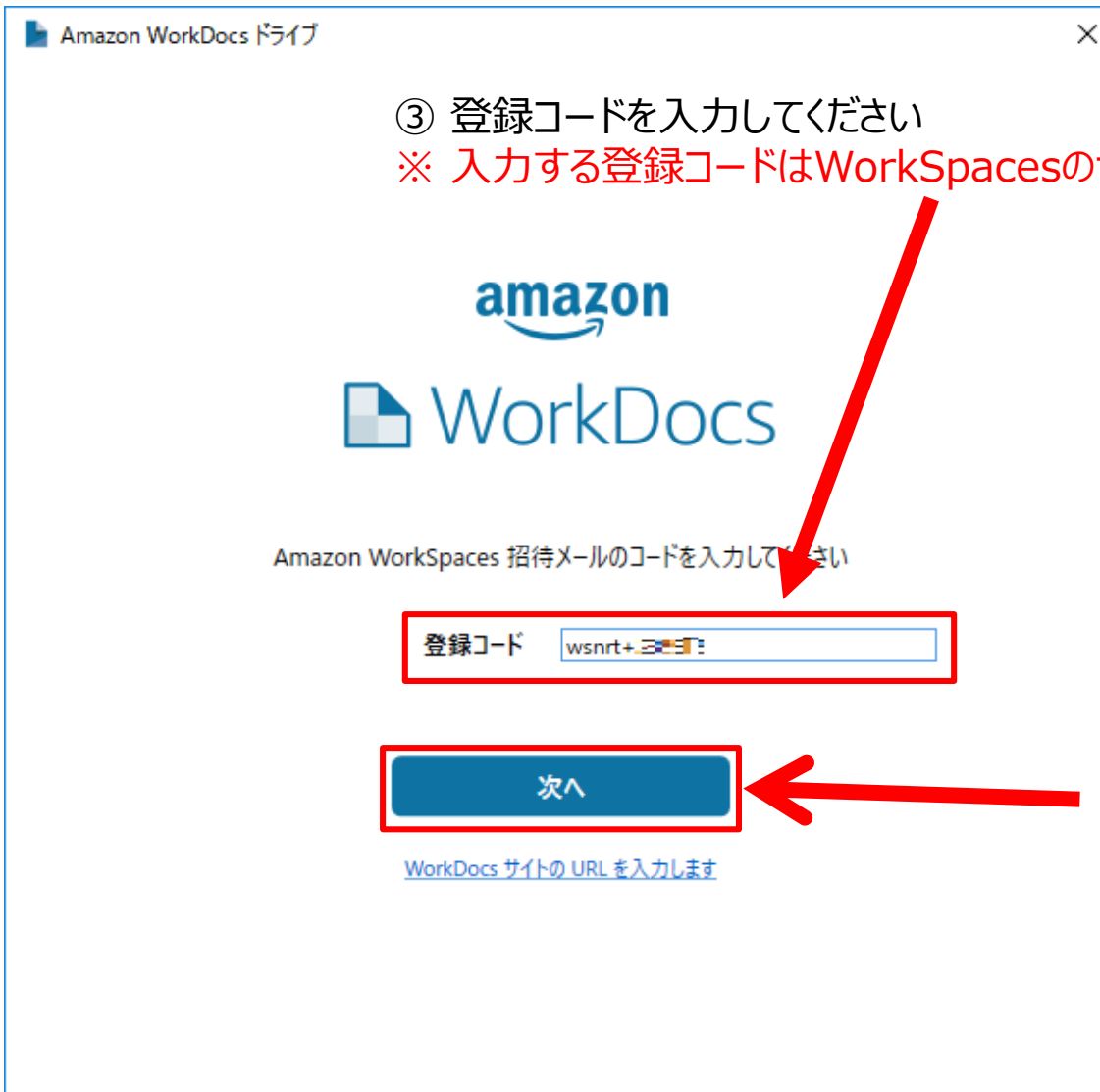
※ 「Amazon WorkDocs ドライブ」のウィンドウが自動的に立ち上がらなかった場合はデスクトップ上のショートカットをダブルクリックして起動してください

次のページへ

## 2. WorkDocs Drive サインイン

Amazon WorkDocs ドライブ

③ 登録コードを入力してください  
※ 入力する登録コードはWorkSpacesのサインインに使用するものと同じです



amazon  
WorkDocs

Amazon WorkSpaces 招待メールのコードを入力してください

登録コード

次へ

[WorkDocs サイトの URL を入力します](#)

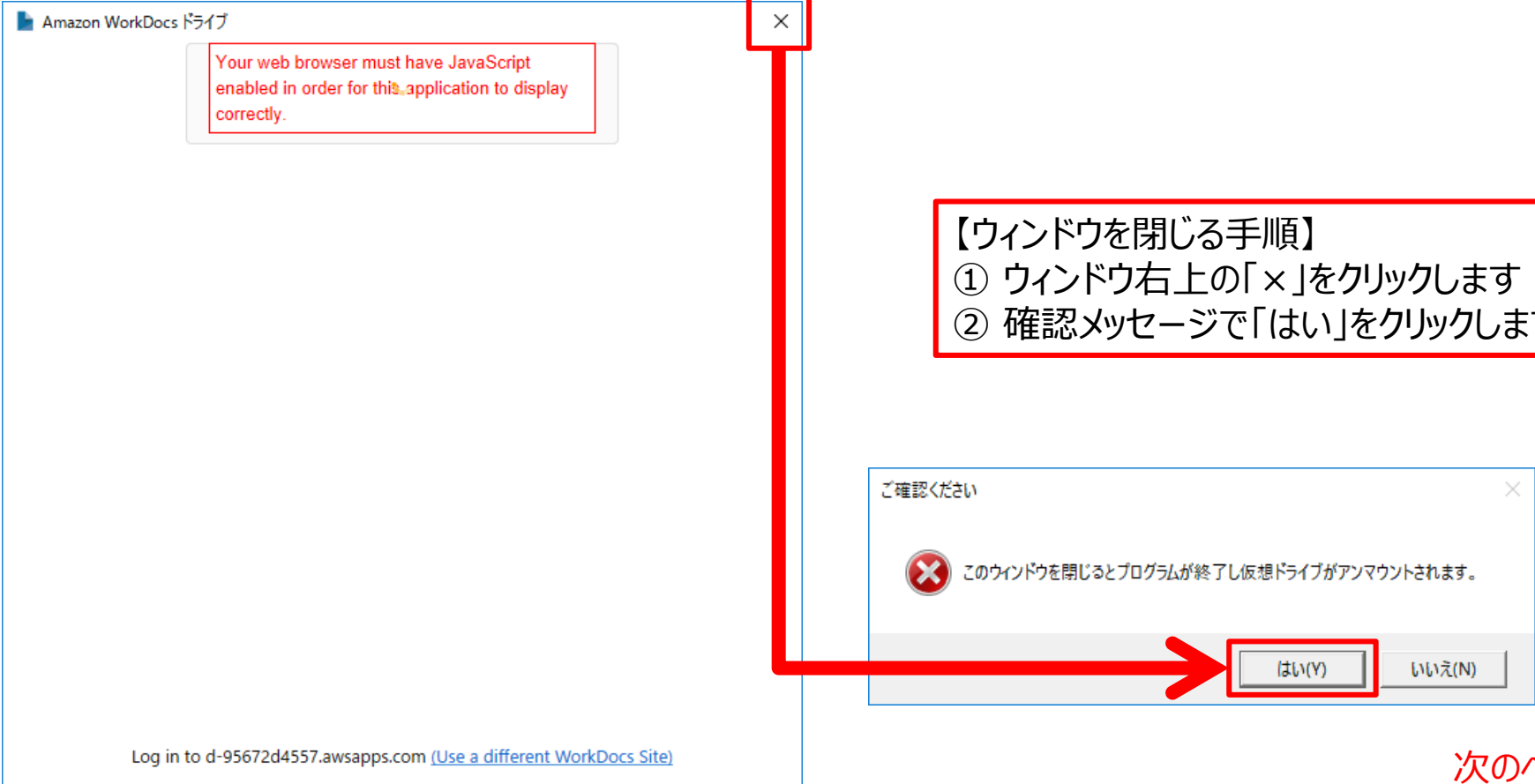
④ 「次へ」をクリック

次のページへ

## 2. WorkDocs Drive サインイン

※ ユーザー名、パスワード入力画面ではなく以下のエラー画面が表示された場合は、「Amazon WorkDocs ドライブ」のウィンドウを一旦閉じて『<参考> サインイン時にJavaスクリプトエラーが表示された場合』に記載の手順を行ってください

その後、『2. WorkDocs Drive サインイン』手順から再度実施をお願いします  
エラーが表示されなかった場合は次のページに進みます



The image shows a screenshot of the Amazon WorkDocs Drive application window. The window title is "Amazon WorkDocs ドライブ". A red box highlights the error message: "Your web browser must have JavaScript enabled in order for this application to display correctly." A red box also highlights the close button (X) in the top right corner of the window. A red arrow points from the close button to a confirmation dialog box titled "ご確認ください" (Please confirm). The dialog box contains the text: "このウィンドウを閉じるとプログラムが終了し仮想ドライブがアンマウントされます。" (Closing this window will end the program and the virtual drive will be unmounted.) The "はい(Y)" (Yes) button is highlighted with a red box.

**【ウィンドウを閉じる手順】**

- ① ウィンドウ右上の「×」をクリックします
- ② 確認メッセージで「はい」をクリックします

Log in to d-95672d4557.awsapps.com ([Use a different WorkDocs Site](#))

次のページへ

## 2. WorkDocs Drive サインイン

Amazon WorkDocs ドライブ

⑤ ユーザー名とパスワードを入力してください  
※ 入力するユーザー名とパスワードはWorkSpacesのサインインに使用するものと同じです

WorkDocs

次の情報を使用してログインしてください  
d-95672d4557 認証情報

ユーザー名

パスワード

サインイン

パスワードを忘れた場合

Log in to d-95672d4557.awsapps.com (Use a different WorkDocs Site)

⑥ 「サインイン」をクリックします

サインインに成功した場合、何も表示されずにウィンドウが閉じます



## ローカルPC – WorkSpaces 間のデータ共有手順

ローカルPCとWorkSpacesにそれぞれ『Amazon WorkDocs Drive』をインストールすることにより、Amazon WorkDocs上の個人領域（以下、WorkDocs個人フォルダ）を介してデータを共有することが可能です。

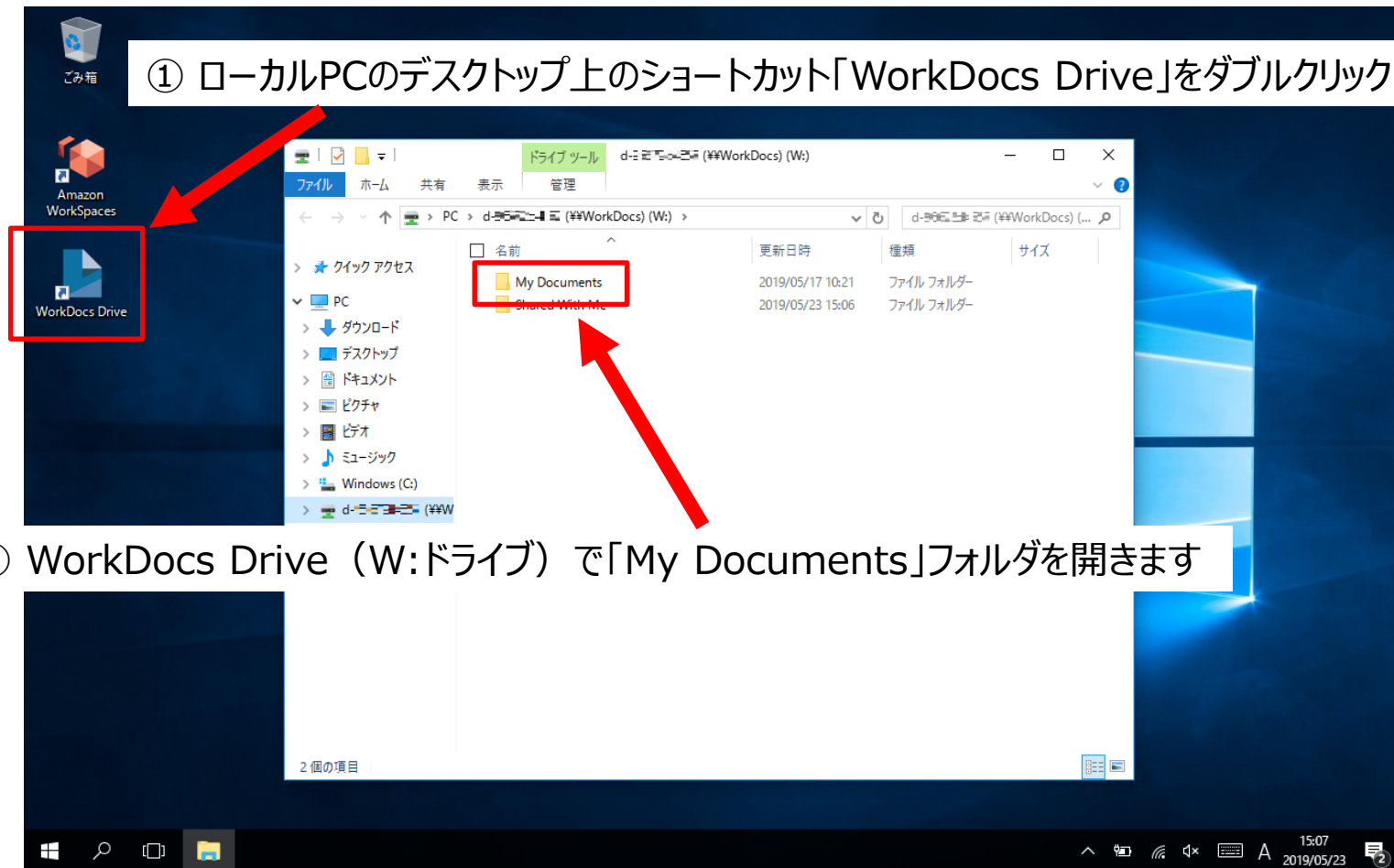
※ 『Amazon WorkDocs Drive』のインストール／サインインの手順は本書の『WorkDocs Drive インストール手順』に記載

以降のページではWorkDocs個人フォルダを利用してローカルPCのデータをWorkSpacesで閲覧するための手順を記載いたします。

## WorkDocs個人フォルダを開く

- ローカルPC側でWorkDocs Driveを利用してWorkDocs個人フォルダを開きます

① ローカルPCのデスクトップ上のショートカット「WorkDocs Drive」をダブルクリック

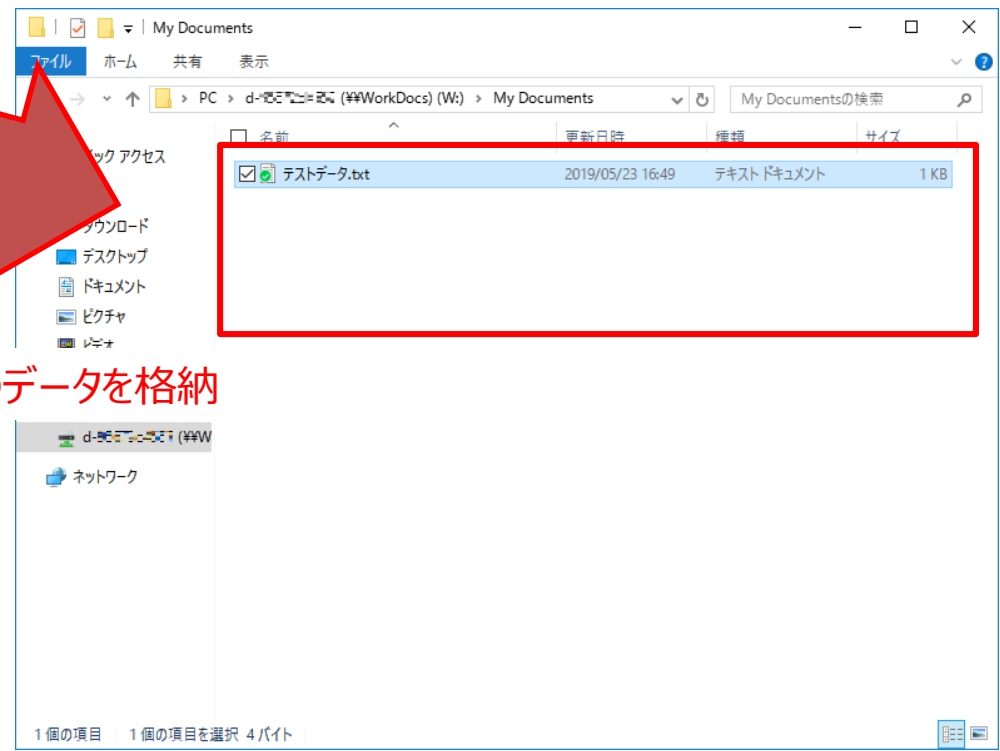
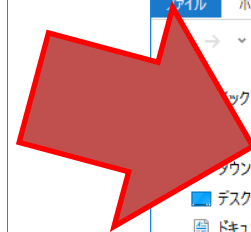
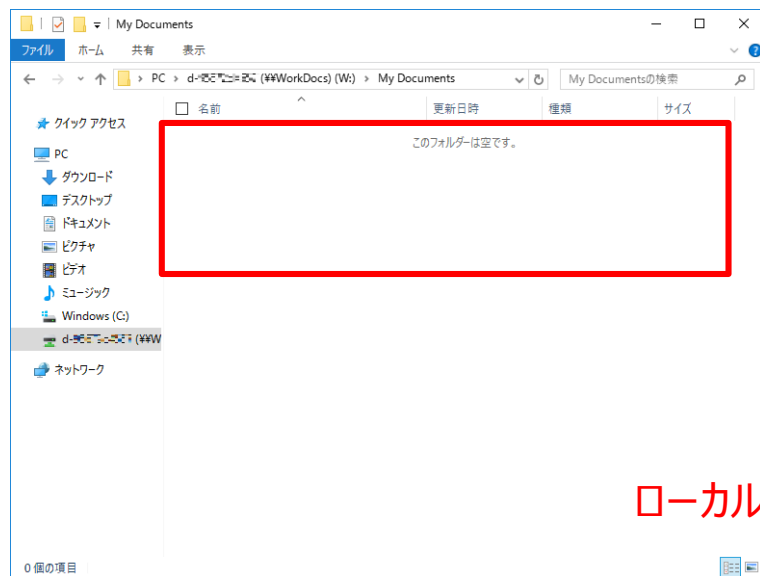


② WorkDocs Drive (W:ドライブ) で「My Documents」フォルダを開きます

次のページへ

### WorkDocs個人フォルダにデータを格納

- WorkDocs個人フォルダ (W:¥My Documents) に WorkSpacesと共有したいローカルPC上のデータを格納します
- ※ 画像では「テストデータ.txt」というファイル1つのみ格納していますが、複数のファイルやフォルダを格納することが可能です



ローカルPC上のデータを格納

## WorkDocs個人フォルダを開く

- WorkSpaces側でWorkDocs Driveを利用してWorkDocs個人フォルダを開きます

① WorkSpacesのデスクトップ上のショートカット「WorkDocs Drive」をダブルクリック

The screenshot shows a Windows desktop environment. On the taskbar, there is a shortcut icon for 'WorkDocs Drive'. A File Explorer window is open, displaying the contents of the 'WorkDocs Drive' (W:). The 'My Documents' folder is highlighted with a red box, and a red arrow points from the 'WorkDocs Drive' shortcut on the taskbar to this folder. Another red arrow points from the 'My Documents' folder in the File Explorer to the 'WorkDocs Drive' shortcut on the taskbar. The File Explorer window shows a list of folders: 'My Documents' (updated 2019/05/17 10:21) and 'Shared With Me' (updated 2019/05/23 13:51). The taskbar at the bottom shows the Windows logo, search, task view, and Edge browser icons, along with system tray icons for volume, network, and the date/time (13:52, 2019/05/23).

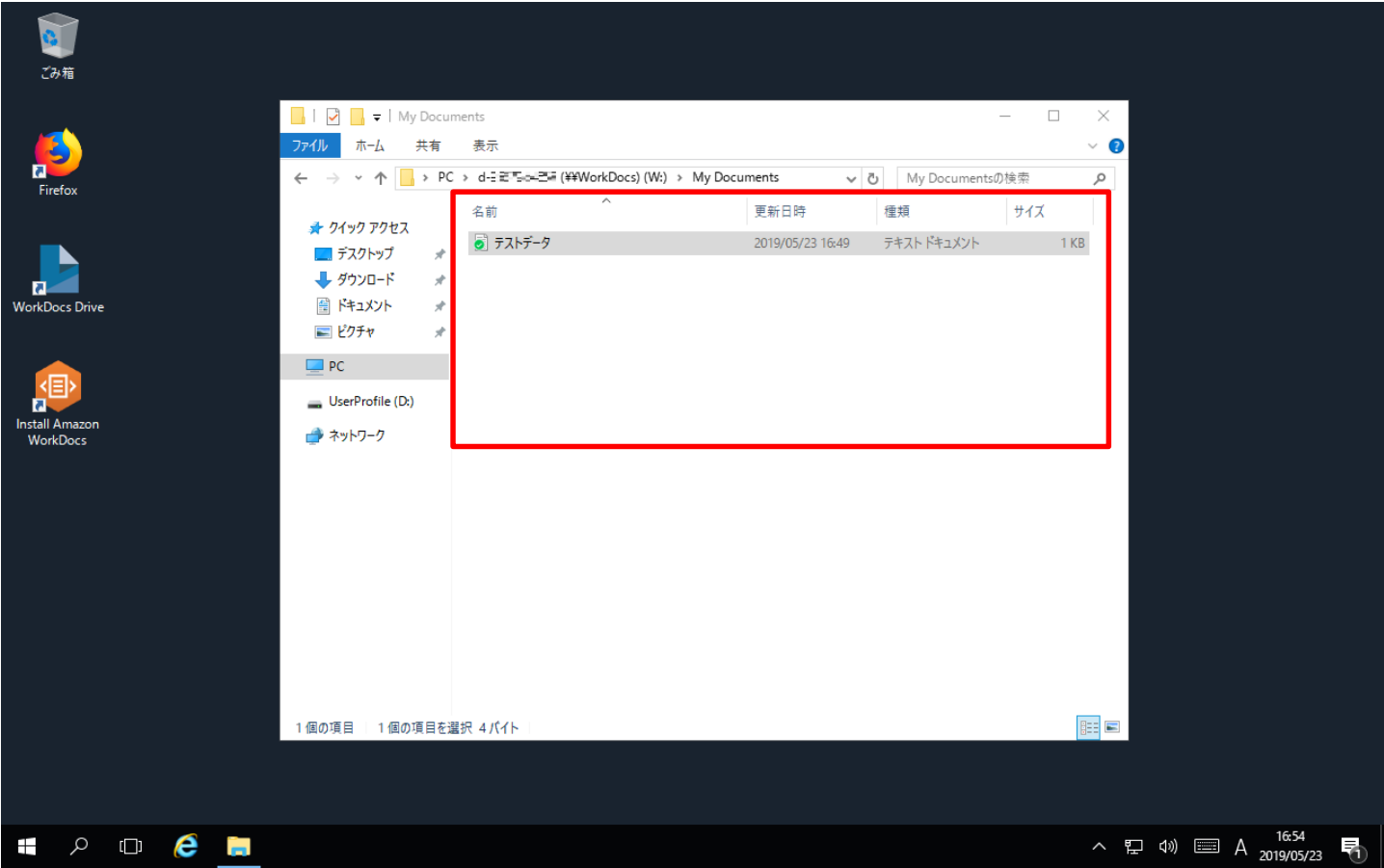
② WorkDocs Drive (W:ドライブ) で「My Documents」フォルダを開きます

# ローカルPC – WorkSpaces 間のデータ共有手順

## WorkSpaces上での作業

### データが閲覧できるか確認

- WorkDocs個人フォルダ (W:¥My Documents) にローカルPCで格納したファイルが表示されることを確認します
- ※ ファイルの共有には数分かかる場合があります  
ファイルが表示されなかった場合はエクスプローラーを閉じて、しばらく待ってから再度お試しください



## <参考> データ共有後の情報漏洩リスク対策

必要なデータをすべてWorkDocs個人フォルダに格納した場合、ローカルPCの紛失等による情報漏洩リスクを低減するために、ローカルPC側にて以下の作業を行うことをお勧めします。

- Amazon WorkDocs Driveのアンインストール
- ローカルPCに保存されたデータの削除

これにより、データがAWS側（WorkDocsおよびWorkSpaces）にのみ存在することになり、ローカルPCを紛失してもローカルPCの拾得者がデータにアクセスすることが難しくなります。

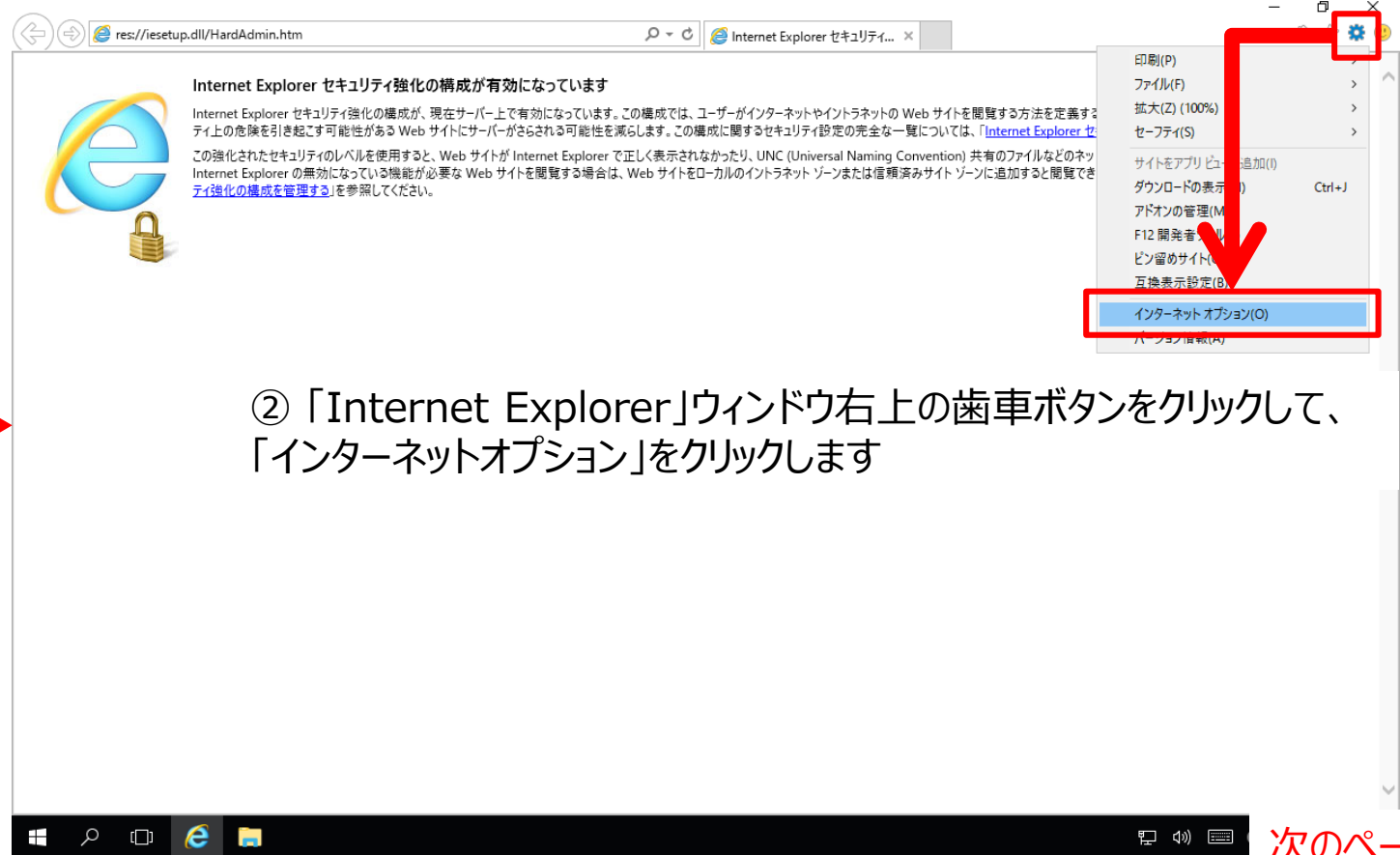
<参考：WorkDocs Driveのアンインストール方法は以下を参照してください>

[https://docs.aws.amazon.com/ja\\_jp/workdocs/latest/userguide/workdocs\\_drive\\_help.html#drive\\_use](https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/workdocs/latest/userguide/workdocs_drive_help.html#drive_use)

# <参考> サインイン時にJavaスクリプトエラーが表示された場合

**WorkDocs Driveのサインイン時にJavaスクリプトエラーに関するエラーが表示された場合は、追加でセキュリティ設定を行います**

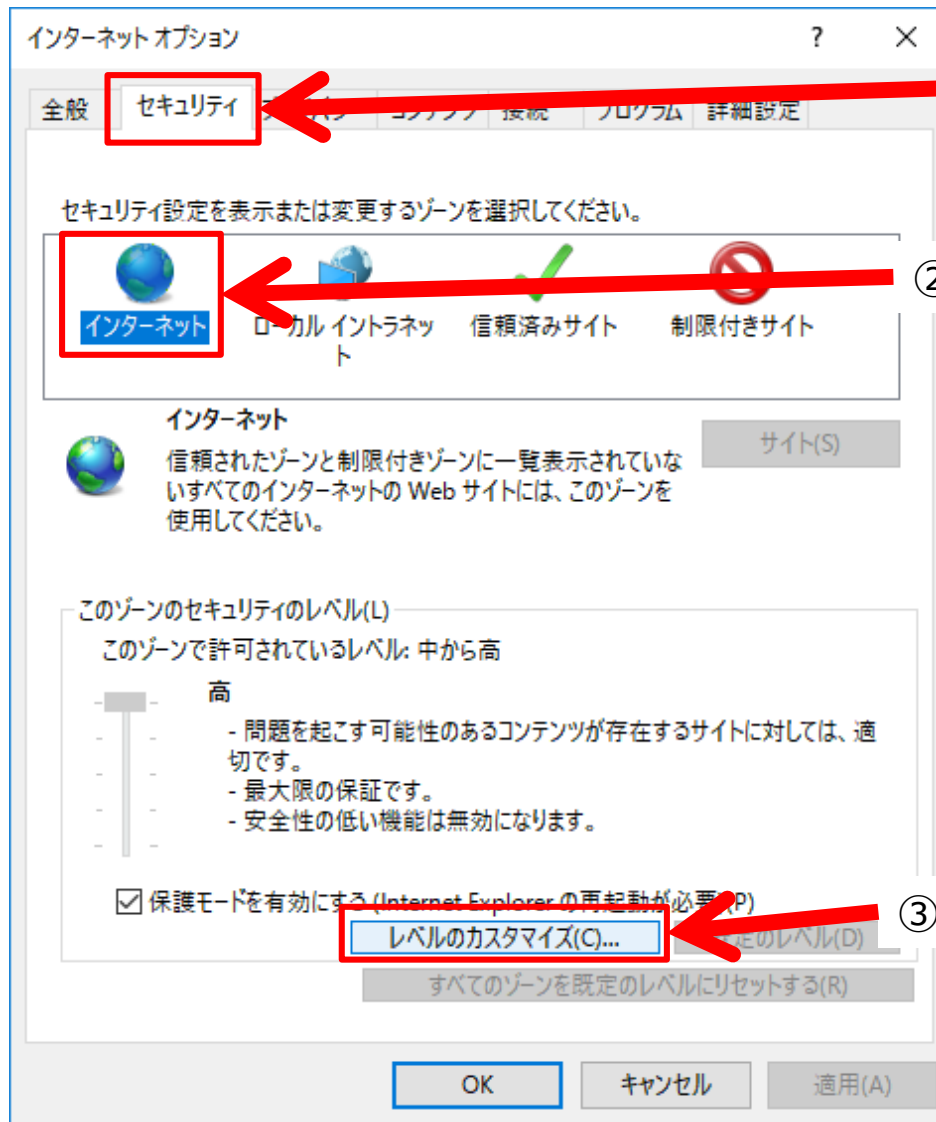
## ① 「Internet Explorer」を起動します



② 「Internet Explorer」ウィンドウ右上の歯車ボタンをクリックして、「インターネットオプション」をクリックします

次のページへ

# <参考> サインイン時にJavaスクリプトエラーが表示された場合



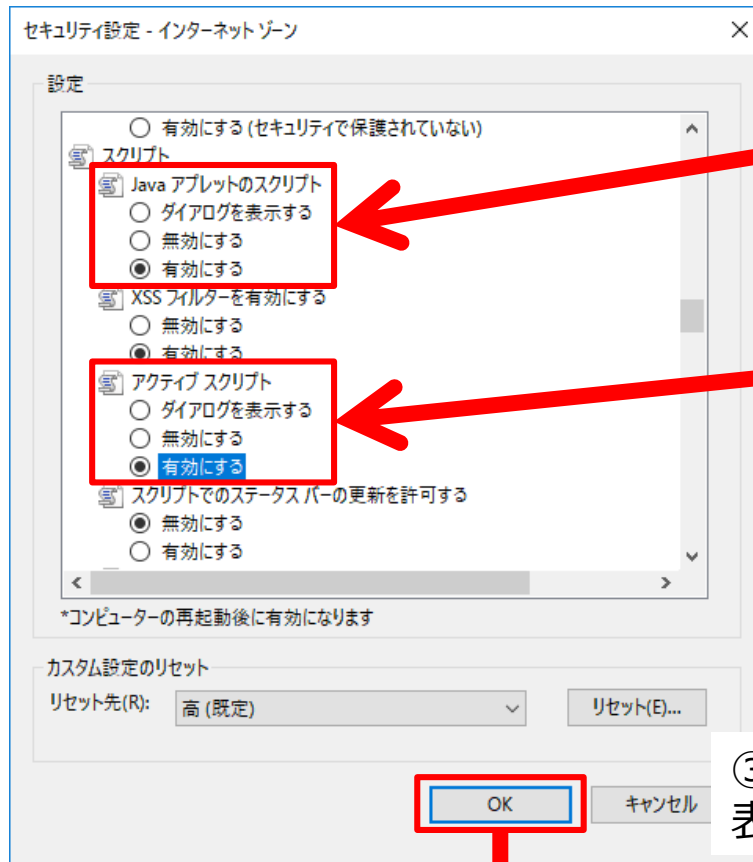
① 「セキュリティ」タブをクリックします

② 「インターネット」を選択（クリック）します

③ 「レベルのカスタマイズ」をクリックします

次のページへ

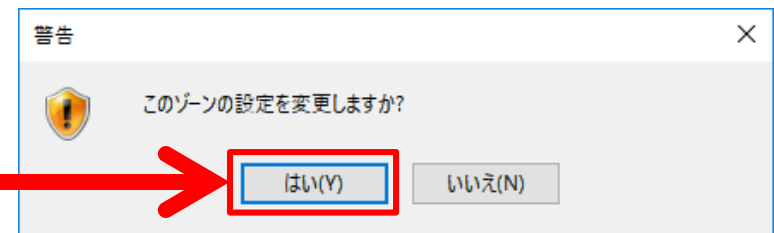
# <参考> サインイン時にJavaスクリプトエラーが表示された場合



① 「Javaアプレットのスクリプト」で「有効にする」を選択します

② 「アクティブ スクリプト」で「有効にする」を選択します

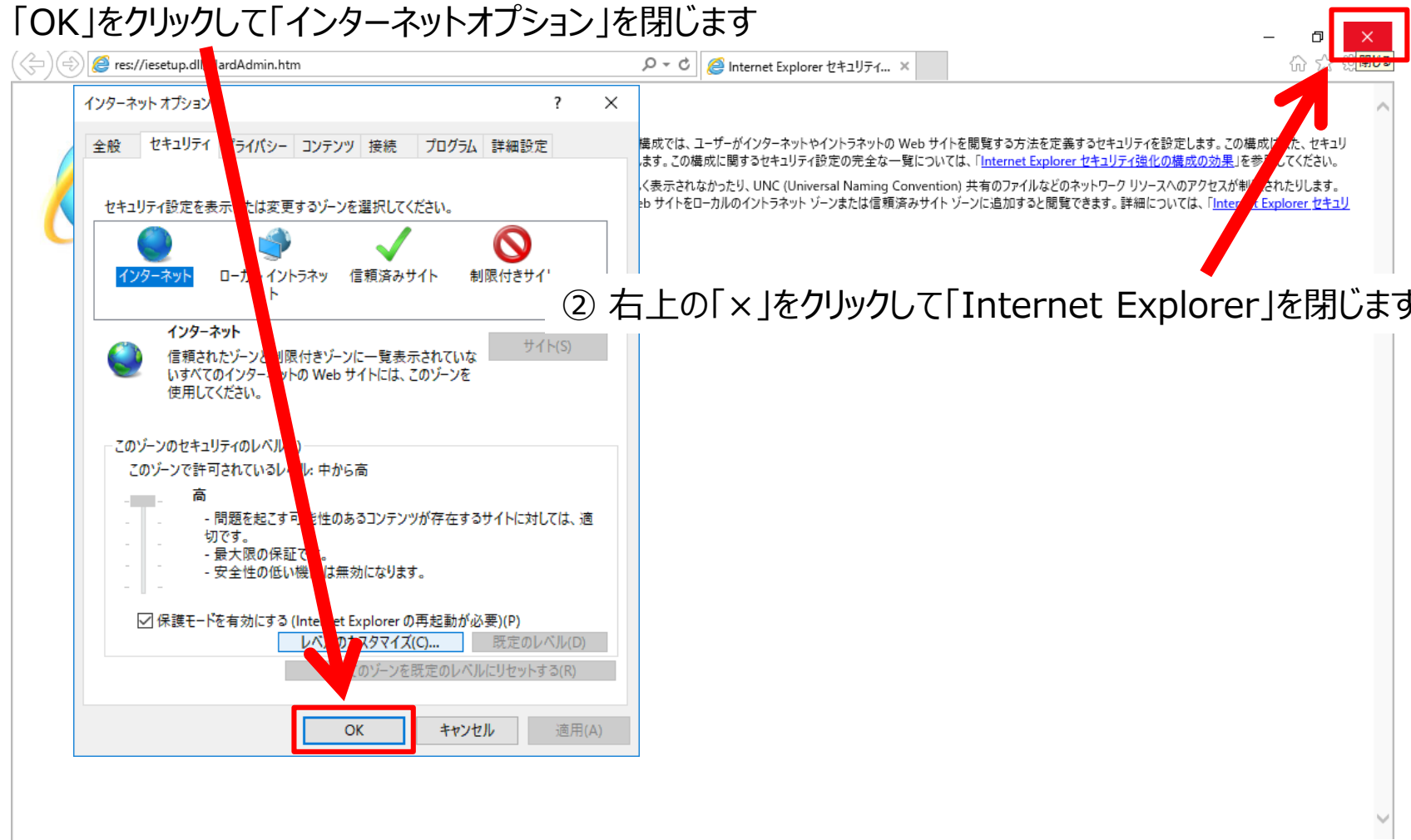
③ 「OK」をクリックした後、表示される警告メッセージで「はい」をクリックします



次のページへ

# <参考> サインイン時にJavaスクリプトエラーが表示された場合

① 「OK」をクリックして「インターネットオプション」を閉じます



② 右上の「×」をクリックして「Internet Explorer」を閉じます

**以上でセキュリティ設定は完了です  
再度、WorkDocs Driveのサインインを行ってください**